

本冊子の内容は以下のウェブサイトから
確認できます

アジョビ®を使用される患者さんのための情報提供サイト

アジョビ®.jp



🔍 <https://ajovy.jp/>

アジョビによる治療をはじめる患者さんへ
解説動画があります

はじめよう、アジョビ

アジョビによる片頭痛の治療について
解説している動画(約5分、字幕付き)です。



医療機関名

アジョビ®を使用される 患者さんへ

アジョビは、片頭痛発作をできるだけ起こさないようにするため
のお薬です。

本冊子は、アジョビによる治療を受けることになった方のために、
お薬の働きや投与方法、副作用などをまとめています。

アジョビによる適切な治療効果が得られるように、医師と相談
しながら治療を続けていきましょう。

治療中に気になることや疑問に思うことがありましたら、
医師、薬剤師または看護師にご相談ください。

片頭痛の特徴とその対策

片頭痛の特徴

片頭痛の対策

日常生活に支障の出る痛みであることが多い



片側にズキンズキンと脈打つような痛み
(両側のこともある)



体を動かすと痛みが強くなる



痛みは4~72時間続く

発作の前に閃輝暗点
(キラキラした光、ギザギザの光が視界にあらわれ見えづらくなること)が起こることがある



発作時には吐き気や実際に吐いてしまうこともある



発作時には光と音、においなどに敏感になることがある



片頭痛には、以下の対策があります。

	お薬による治療	セルフケア
片頭痛発作時に痛みを和らげる	【急性期治療】 ●トリプタン系薬剤 ●NSAIDs ●アセトアミノフェン など	・部屋の照明を暗くする ・安静にする ・頭を冷やす など
片頭痛発作をできるだけ起こさないようにする	【予防療法】 ●抗CGRP抗体薬 (アジヨビ) ●カルシウム拮抗薬 ●β遮断薬 など	光、音、温度変化、寝不足、寝すぎ、空腹などを避ける

* NSAIDs (エヌセイズ)：非ステロイド系抗炎症薬
* CGRP (シージーアールピー)：カルシトニン遺伝子関連ペプチド

コラム

片頭痛の予防療法

片頭痛発作時の対策のみでは、日常生活への支障が改善されない場合、片頭痛発作をできるだけ起こさないようにする治療(予防療法)を行います。その目的は、以下の3つです。

- 1 発作の回数を減らし程度を軽くする
- 2 発作が起きたときに服用(頓服)するお薬の効果を高める
- 3 発作による日常生活への支障を減らす

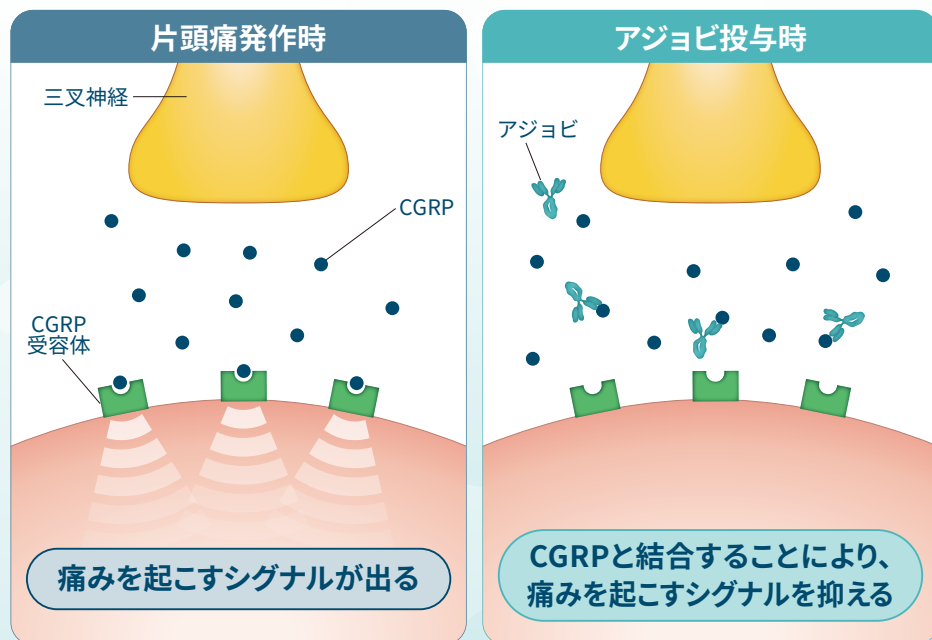
アジヨビの働き

アジヨビは、片頭痛発作をできるだけ起こさないようにするためのお薬です。

片頭痛は、何らかの刺激により、三叉神経と呼ばれる神経から^{シージェーアルビー}CGRPなどの神経伝達物質が出され、脳内の血管などに作用することにより起こるといわれています。

アジヨビは、CGRPと結合し、その働きを抑えることで、片頭痛発作を起こさないようにすると考えられています。

CGRP：カルシトニン遺伝子関連ペプチド

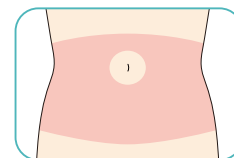


- アジヨビは片頭痛発作をできるだけ起こさないようにするお薬で、起こってしまった痛みを和らげるお薬ではありません。
- 頭痛が起こった場合には、痛みを和らげるお薬を適切に服用してください。

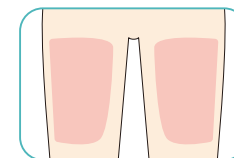
アジヨビの投与方法

皮下に注射します。

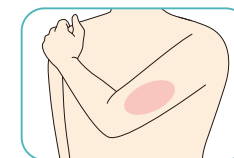
注射の場所は以下のいずれかです。



腹部



大腿部



上腕部

へその周り5cm以内は避けてください。

2つの投与間隔から選べます。

● 4週間に1回、1本注射

医療機関での注射または在宅での自己注射が可能です。

<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	<input type="radio"/>
	<input checked="" type="radio"/>

4週間 → 4週間 → 4週間 → 4週間 → 4週間 → 4週間

もしくは

● 12週間に1回、3本注射

医療機関での注射のみで在宅での自己注射はできません。

<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	<input type="radio"/>
	<input checked="" type="radio"/>

12週間 → 12週間

4週間に1回の投与の場合、オートインジェクターによる自己注射も選べます。アジヨビの投与方法の選択や変更の際は、医師にご相談ください。

アジヨビの主な副作用

注射を打ったところに、次のような症状があらわれる場合があります。



その他に、かゆみや発疹などのアレルギー反応があらわれる場合があります。

特に気をつけていただきたい副作用

●重篤な過敏症反応

次のような症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。

全身のかゆみ、
じんま疹、紅斑、発赤
などの皮膚症状

のどのかゆみなどの
粘膜症状

くしゃみ、せき、
ゼーゼー、声のかすれ
息苦しさなどの呼吸器症状

腹痛、吐き気などの
消化器症状

顔色が悪い、意識混濁、
ふらつき、動悸などの
ショック症状

※アレルギー反応は、
注射後1ヵ月以内に
起こる可能性があります。

注射を打った後に、いつもと違う体調の変化など気になることがあれば、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

アジヨビによる治療で大切なこと

●治療の継続

片頭痛発作をできるだけ起こさないようにする治療(予防療法)は、すぐに効果を感じられない場合があります。自己判断で治療を中断してしまうと十分な効果が得られないこともあることから、ご自身では症状の改善を感じられない場合でも、医師と相談しながら治療を継続することが大切です。

●頭痛ダイアリー

片頭痛の対策をする上で、発作がいつ、どんなきっかけで起こりやすいのかなど、あなたの頭痛の特徴を知っておくことが大切です。

頭痛の記録を残すことは、頭痛の特徴がわかるだけでなく、医師があなたの治療を考えるための重要な情報になります。



片頭痛について、もっと理解するために...

患者さんやご家族、一般の皆さまに片頭痛を含む様々なタイプの頭痛について正しく理解していただくための情報を提供しているサイトです。

頭痛に関する総合情報サイト
頭痛の悩み.jp

スマートフォンでもパソコンでもご覧いただけます。

頭痛の悩み.jp

